

No. 2323【至仏山、武尊山】

2012年7月13日（金）～7月16日（月）

参加者：嶋原、尾崎、岩切、向井（記）

7月13日（金）

21時 新大阪駅。空港行バスターミナル集合。尾瀬戸倉へ向けて、嶋原さんの運転で21時15分出發。新大阪駅周辺では、海の日連休前でちょこちょこ大きなリュックを担いだ人たちを見かける。

7月14日（土）雨のちくもり時々晴れ

早朝、尾瀬戸倉に到着。少し雨が降っている。ゆっくりと朝食、身支度をして鳩待峠行のバスに乗り換え。30分ほどバスに気持ち良く揺られ、鳩待峠に到着。

鳩待峠から山の鼻まではほとんど木道。今から至仏山に登るのに一旦下らないといけない。雨が降っているのでも木道で滑らないよう注意。山の鼻ビジターセンターを少し見学して、至仏山では蛇紋岩という滑りやすい岩に注意しないとけないことを知る。山の鼻から至仏山へは植生保護のため登りにしか使えない道を登っていく。このころには雨も上がっていたが、登山道という名の急な階段では沢のように水が流れている。身の脇にはエーデルワイスやニッコウキスゲなどいろいろな植物（名前を覚えてもらいましたがほとんど忘れてしまいました。）を見ることができ、尾瀬が原や燧ヶ岳も見渡せることができました。至仏山頂上に到着したのはお昼前。団体客が多く、さすがに人気のある山だと感じられました。至仏山からは小至仏山を経て鳩待峠まで下山。そして、明日登る武尊山のふもとまで車で移動。本当なら、武尊牧場（東俣駐車場周辺）でテントを張る予定だったが、車ではそこまで入れず止む無く下の方で泊。

7月15日（日）雨のちくもり時々晴れ

今日登るのは武尊山と書いてほたかやま。最初、ぶそんやまと読んでいました。

昨日テントを張れたのが予定より下のほうだったので、アスファルト道を1時間以上余分に登らないといけない。武尊山の登山コースはいくつもあって、武尊牧場からのコースは楽なのだそうだが、私にはきつかった。確かに緩やかな登りが多かったが、とにかく道がどろどろ、ずるずる。今朝も歩き始め少し雨は降っていたけれど。最初は靴が汚れないように歩く所を選んだりしていたが、気力も体力もなくなり途中からは泥の中をかまわず歩くことにした。鎖のついた岩場を過ぎ、進んでいくと、まだ雪が残っている場所もあった。もうすぐ頂上であろう所に、笹清水という水場があり、帰りは汲んで帰ろうと心に決め、登っていく。途中、もう登るのが嫌になった時もあったが何とか頂上にたどりついて昼食。食事をとると元気になり、時間的にも余裕がないので、頂上ではそんなにゆっくりせず、下山開始。重くはなるが、下山時ならまだましだと、先程の笹清水で空になったペットボトルに水を補給。下りはなんとか、ついていくことができ、そこそこの時間に下山することができました。下山後は、まずどろどろの靴や、スパッツを適当な水場で洗い、そのあと、温泉へ。

途中いくつかのパーキングエリアで食事、休息を取りながら帰阪。

7月16日（月）

朝8時ごろ新大阪着。リーダーの嶋原さん、長距離の運転どうもお疲れ様でした。

個人的には、今回もやはりダイエットをしなくてはと痛感した山行でした。

7/14

戸倉第一駐車場 == 鳩待峠 山ノ鼻 至仏山頂上.....鳩待峠

5:05 6:30 7:05 7:20 8:10 8:25 11:40 12:15 14:35

7/15

登山口 (1080m)武尊牧場.....高山平.....武尊山頂上.....武尊牧場.....登山口

7:00 8:00 8:15 12:50 13:20 16:30 17:30